



# 一東北生産性本部一

## 第39回仙台シンポジウム 7月例会開催

### テーマ 「イスラム国の野望！」



#### ■ 7月例会（平成28年7月12日開催）

#### 講師 国際政治学者 高橋和夫氏

##### プロフィール

大阪外国語大学ペルシャ語科卒業、1976年コロンビア大学大学院修了、79年哲学博士取得。85年放送大学教養学部助教授、08年同大学教養学部教授に就任。中東研究の第一人者でTVコメンテーターとして出演多数。近著に「現代の国際政治」「イスラム国の野望」等多数。

『第39回仙台シンポジウム7月例会』は、国際政治学者で放送大学教授の高橋和夫氏を迎え、約50名の参加を得て開催いたしました。

講演では、『アラブ人は黒や白のターバンを巻いているが、イスラム教の最後の預言者ムハンマドが黒いターバンをしていたことから、その多くは自分はムハンマドの末裔と主張している者たちである。白いターバンは、庶民の出であることから、イスラム教の坊さんの中ではターバンの色で格が違う。』

イラク・シリアを中心としたイスラム国(ISIL)の指導者バクダーディは、どうやって若者たちを集めたか。中東戦争勃発の頃のイスラム教徒が1世とすると、現在は2世3世の時代になってきた。中東自国に留まらず、世界各国に移住し生活しているが、移住先の国ではアラブ人・イスラム教徒は馬鹿にされてきた。そうした中で、心に大きな隙間を持った若者がインターネットを通じたイスラム国の誘いに乗り集まってきた。イスラム国は、旧ドイツのナチス党の手法を巧みに使い、若者受けする黒の民族服や戦闘服などのファッション、歌や音楽、ムハンマドの印をロゴマークに、人差し指を頭上に差上げる団結を意味するジェスチャーで若者を取り込んでいった。

イスラム国誕生の背景は何か。イラクの民族構成は、アラブ人シーア派が60%、同スンニ派が20%、クルド人が20%となっている。いくら頑張ってもスンニ派は政権を取れないことからの不満があった。アメリカ軍はスンニ派をお金で抱き込んで味方につけ、その情報によりイスラム国の撲滅にある程度成果を残した。シーア派のマレキ首相が進めるスンニ派排除の政策に不満を増大させたスンニ派の中で過激派組織ISILなどの武装勢力の拡大に繋がり、マレキ政権は失敗した。

一方、シリアはアサド大統領の独裁政治国家で、北朝鮮と同じである。アサド大統領は人口の10%程度しかいないアラウィー派であり、70%はスンニ派が占めている。2011年のアラブの春を発端にシリアでも民主化運動が広がり、スンニ派は政府に民主化を求めるが、アサド大統領は絶対に権力は手放さない。第二次大戦後に軍隊を掌握したことから内戦が始まった。シリアの武装勢力には、「自由シリア軍」、「イスラム勢力(アルカイダ系)」、「イスラム国」があるが、アサドは「イスラム国」を支援したために勢力拡大に繋がったとされる。イスラム国の出自は、「父はイラクの混乱」、「母はシリアの内戦」と言われている。

今の状況はどうか。有志連合軍の攻撃で30%ぐらい勢力は小さくなっている。イスラム国は劣勢である。指導者バクダーディも出て来ない。死亡説もある。脱走する兵士も出ており、混乱している模様である。

なぜ、昨年9月にロシアはシリアに軍事介入したか。ロシアはシリアと同盟国である。人間関係の深さがあり、プーチンはアサドを助けるために軍事介入した。国交があることから、シリア人とロシア人が結婚し、ロシア系シリア人が何万人も居るからである。

なぜ、アメリカは地上部隊を送らないのか。それは「必要がない」、「傷ついている」ことからである。アメリカではシェール改革で自国での石油を増産させることができ、中東からの輸入がそれほど要らなくなったため、中東に首を突っ込む「必要がない」ということ。また、アメリカ軍は、イランイラク戦争で4,502人、アフガン戦争で2,381人、合計6,883人の兵士を亡くした。帰還兵は精神的ダメージにより、一日20人が自殺している現状にある。大変に「傷ついている」ということ。』と話されました。

以上のように、中東情勢について分かりやすく解説いただき、大変有意義な講演会となりました。

## 平成28年度「第39回仙台シンポジウム」のご案内

\*会場：仙台商工会議所会館7階 大会議室

8月例会 平成28年8月10日(水) 13:30~15:00

(日時が変更となりました。)

『参議院及び東京都知事選挙の検証と今後の政局』

講師：時事通信社特別解説委員 田崎 史郎 氏

9月例会 平成28年9月8日(木) 13:30~15:00

『アベノミクスの真偽を検証する』

講師：同志社大学大学院ビジネス研究科教授 浜 矩子 氏

11月例会 平成28年11月2日(水) 13:30~15:00

『最近の事象から見るコンプライアンスの在り方』

講師：中央大学法科大学院教授、弁護士 野村 修也 氏

12月例会 平成28年12月1日(木) 13:30~15:00

『2017年世界の潮流を読む』

講師：一般財団法人日本総合研究所 理事長 寺島 実郎 氏

\*会場は仙台商工会議所会館7階大会議室、時間帯は13時30分から15時です。参加ご希望の方は、東北生産性本部 (Tel 022-261-0411) までご連絡ください。